



# 我龍 garyu

府中市諸毛町を活動の拠点とし、全国に展開している和太鼓とドラムのユニット『我龍』は、今年で10周年を迎えました。

8月8日(土)・9日(日) ウッドアリーナにて  
10周年記念コンサート『調和と進歩～Harmony & Progress～』を開催



10周年記念コンサートでは3,000人の観客が沸きました



Takashi Takeuchi



Hiroki Takeuchi



Shunsuke Komoto

## 羽ばたけ！我龍ジュニア

我龍代表の竹内孝志<sup>じゆうし</sup>さんを先生として「府中十五鼓<sup>つみ</sup>の会」が発足。3歳から高校1年生までの子どもたちが主体となって、約30人が和太鼓を打ち鳴らします。子どもたちにとって、「我龍」という存在は憧れでもあり、目標でもあります。

▷子どもたちの夢が膨らんでいます。

(指導：竹内孝志さん  
竹内裕樹さん)



## オリジナルにこだわり続ける

全国的にも珍しい、太鼓とドラムのユニットに加え、多くのゲストとコラボし、新しい調和を作り上げています。さらに太鼓、衣装、セットなど全てが手作りで、あくまでもオリジナルにこだわります。曲は、諸毛の自然の中や日常の中で生まれるようで、時には諸毛の山の中で考えることもあるそうです。その雰囲気やステイジで味わえるよう、空間そのものを大切にされています。

「ここ（諸毛）にいて不便だと感じたことはないです。むしろアーティストにとって、これ以上ない良い場所です。」とリーダーの竹内孝志さんは話されます。

我龍は10年前、和太鼓の竹内孝志さんとドラムの香本俊介さんの2人で始まり、「これまで色々なことがあったなあ…」とステイジで涙ぐむ香本さんに、会場は感動に包まれました。



元諸田小学校体育館を借りて練習するメンバー。△

## 世界に広がる我龍ファン

毎年、台湾やシンガポールでのコンサートも開催され、この10周年コンサートの2か月後にはフランスでの公演も予定され、国際的にも活躍されています。

今後の活躍から目が離せません。

▷府中の里山の素晴らしさを世界に発信中です。

